



平成 13 年 10 月 19 日

会 社 名 綜研化学株式会社  
代表者名 取締役社長 中島 幹  
(コード番号 4972 店頭)  
問合せ先 取締役  
経営管理部長 安藤 隆夫  
TEL 03 - 3983 - 3171  
FAX 03 - 3988 - 9216

平成 14 年 3 月期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日)  
中間及び通期の業績予想の修正について

平成 14 年 3 月期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 13 年 5 月 25 日付決算短信及び平成 13 年 5 月 30 日付連結決算短信発表時の中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 当中間期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 9 月 30 日) との差異

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	5,700	80	50
今 回 修 正 ( B )	5,100	95	60
増 減 額 ( B A )	600	175	110
増 減 率	10.5%		

(2) 通期の業績予想 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日) の修正

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	12,800	590	350
今 回 修 正 ( B )	11,500	20	10
増 減 額 ( B A )	1,300	570	340
増 減 率	10.2%		

(3) ご参考: 前期の実績 (平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 (中 間) 純 利 益
中 間 期 ( 4 / 1 ~ 9 / 3 0 )	5,724	305	155
通 期 ( 4 / 1 ~ 3 / 3 1 )	11,855	525	279

## 2. 単独業績予想の修正

(1) 当中間期(平成13年4月1日~平成13年9月30日)との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり中間配当金
前回予想(A)	5,300	70	40	0円00銭
今回修正(B)	4,600	90	50	0円00銭
増減額(B-A)	700	160	90	
増減率	13.2%			

(2) 通期の業績予想(平成13年4月1日~平成14年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり期末配当金
前回予想(A)	11,900	500	300	10円00銭
今回修正(B)	10,500	30	15	10円00銭
増減額(B-A)	1,400	470	285	
増減率	11.7%			

(3) ご参考:前期の実績(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期(中間)純利益	1株当たり期末(中間)配当金
中間期(4/1~9/30)	5,091	222	104	0円00銭
通期(4/1~3/31)	10,759	473	246	10円00銭

## 3. 修正の理由

(1) 売上高

中間期は、IT関連産業の不況や家電、自動車、住宅等の需要不振の影響を受け、主力事業の粘着剤をはじめ、加工品等のケミカルズ部門の販売の落込みが大きく、当初の予想に反し売上高は前年比10.9%減、前回予想比10.5%減の5,100百万円となる見込みです。

下期は、粘着剤での同業他社へのOEM供給の実施や液晶表示装置向けの需要回復等により売上高は増加(中間期比25.5%増)に転じる見込みです。

従いまして、通期の売上高は11,500百万円と前年比3.0%減、前回予想より10.2%程度減少する見込みです。

(2) 利益

利益につきましては、売上高が予想を大きく下回ったため、当中間期の連結経常損失を95百万円、連結中間損失を60百万円と修正いたします。

通期につきましては、連結経常利益を20百万円、連結当期利益を10百万円と修正いたします。

## 4. 今後の収益改善対策

役員報酬等の人件費や一般経費の削減並びに設備投資の抑制による固定費の削減を実施致します。

以上